

I はじめに

この「葉山町地域福祉推進プラン」は、葉山町の地域福祉を推進していくうえで車の両輪の関係にあると言える2つの計画、「葉山町地域福祉計画」と「葉山町地域福祉活動計画」を併せる形で策定したものです。

葉山町行政が策定する「地域福祉計画」と葉山町社会福祉協議会（社会福祉協議会）が策定する「地域福祉活動計画」は、それぞれ基本的な行政施策と住民（民間）の行動計画という性格があり、両計画は一体的な関係にあります。

そこで、今回両計画を一体的に策定することで、住民、各種団体、ボランティア、社会福祉協議会など民間の地域福祉に関する様々な取り組みと、葉山町地域福祉行政の基本的な方向性や支援策などを分かりやすく整理していき、一体的なまちづくりを進めていくこととしました。

「葉山町地域福祉計画」は、葉山町行政が社会福祉法第107条に定める市町村地域福祉計画として、①地域における福祉サービスの適切な利用の推進、②地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項、③地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項などを明らかにするために策定する計画です。

葉山町行政では、平成25年3月に初めての「葉山町地域福祉計画」を策定し、地域福祉の推進を図ることを目的に設置される社会福祉協議会が安定的に運営していくための支援を行うとともに、計画に即して地域福祉が円滑に進むよう社会福祉協議会を支援してきました。

「葉山町地域福祉活動計画」は、地域の住民、地域福祉活動団体、社会福祉関係事業者等が相互に協力して地域福祉推進のために策定する住民（民間）の行動計画であり、地域福祉の推進を図る役割を担う社会福祉協議会が事務局となりまとめたものです。

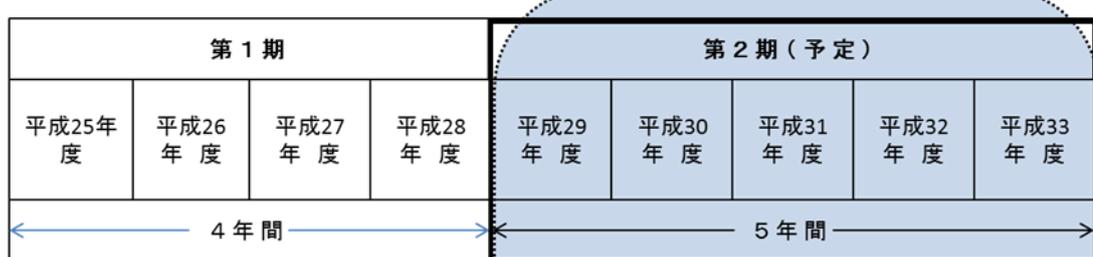
これまで葉山町では、平成13年度に「第1次葉山町地域福祉活動計画」が策定され、以降、現在の「第3次葉山町地域福祉活動計画」までの間、各期の「葉山町地域福祉活動計画」に沿って、地域住民等を社会福祉協議会が支援する形で、小地域福祉活動推進組織、葉山町生

きがいミニデイサービス事業（ミニデイサービス）やふれあいいいききサロン活動（サロン活動）、葉山災害ボランティアセンターに関する事業など様々な地域福祉活動が展開されてきました。

この「地域福祉」の推進に関する2つの計画を策定する上で共通する最も重要な理念は、「地域福祉は、地域住民等が自ら考え決定する」ということで、葉山町行政や社会福祉協議会の価値判断ではなく、地域住民等が中心となり「解決すべき課題」「解決の目標」「解決の方法」「役割の分担」の4つの合意を図ることです。

これらを踏まえ、本計画の策定では、地域住民等からアンケート調査を行うとともに、ヒアリングやワーキンググループによる意見交換などを通じて地域の福祉課題を把握し、その解決方法と役割分担を共有し、連携、合意といった策定過程を経る中で、今後の地域福祉を推進していくために取り組むべきことをまとめるよう努めました。

【葉山町地域福祉計画(町)】



社協と町で合同事務局を設置して検討

一体化 地域福祉推進プラン(仮称)

【葉山町地域福祉活動計画(社会福祉協議会)】



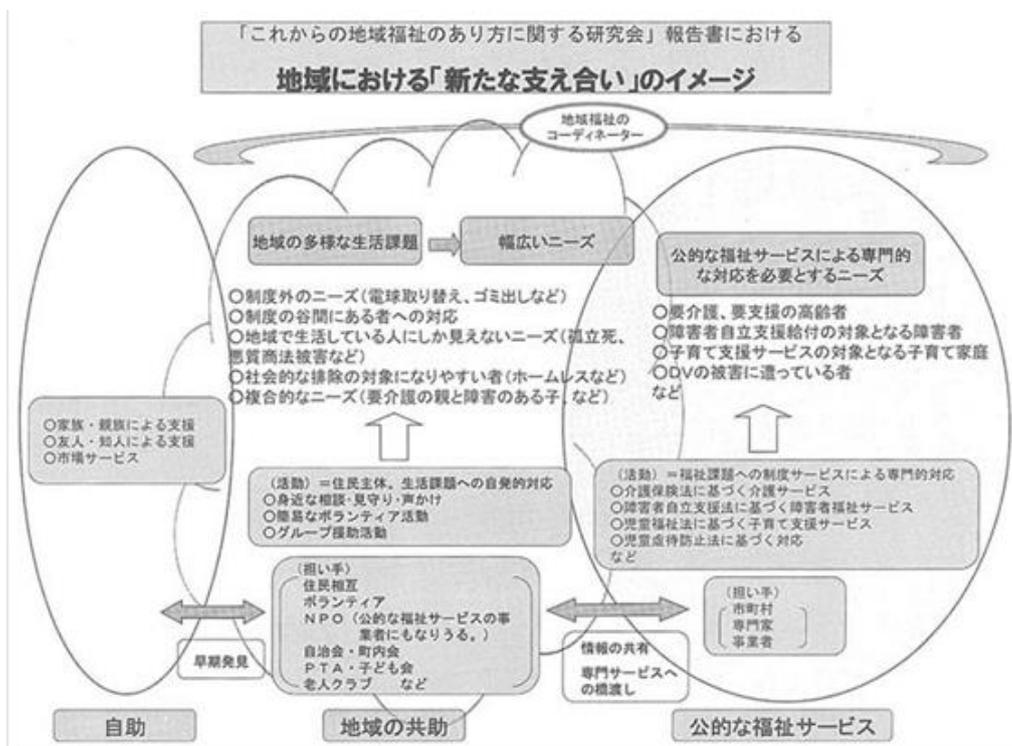
1 地域福祉とは

子どもも高齢者も、障害のある人もない人も、男性も女性も、日常生活を営む上で悩みや課題を抱えてしまうことがあります。

そうした日常生活上の悩みや課題への対応は、まずは個人や家庭において解決し(自助)、解決できないものは隣人や町内会・自治会、ボランティア・市民活動団体等の地域活動により支援し(共助)、地域活動では解決が困難な場合は行政が支える(公助)ような重層的な仕組みが基本になると考えられます。

このようなことから、公私の関係者がお互いに協力し、既存の社会資源を活用したり、地域特性や地域の強みを活かして新しい仕組みを作り上げたりしていくことにより、私たちの日常生活上の生きにくさや地域の福祉課題を解決していくことを地域福祉とといいます。

地域福祉の担い手は、一人ひとりの住民を基本に、各種団体、企業・商店、福祉サービス事業者、社会福祉協議会などすべての人々であり、そこに暮らす一人ひとりが主体的に取り組むとともに、公私の様々な個人や団体がそれぞれの個性と独自性を生かしながら、協働により進めていく必要があります。



(厚生労働省社会・援護局設置「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」報告書(平成20)年3月31日)より

2 地域福祉の担い手と期待される役割

それぞれの担い手が、地域福祉の大きな推進力となるためには、次の役割が期待されます。

- 地域住民は、一人ひとりが地域社会の一員としての自覚と責任のもとで、主体的に地域の福祉課題に関わっていく。
- 各種団体や地域の企業・商店などは、それぞれの特性や持つ資源を生かしながら、積極的に地域と関わり互いに連携していく。
- 社会福祉関係事業者は、地域の構成員としての自覚と責任を持ってサービスを提供していく。
- 社会福祉協議会は、地域福祉の推進役として、地域住民などの地域福祉活動への参加を促進するための支援を行うとともに、それぞれの活動主体が相互協力し、地域福祉の健全な発達が図られるよう様々な事業を企画し、実施していく。
- 葉山町行政は地域福祉の状況を把握し、住民主体の福祉活動が円滑に進むように福祉環境の整備を中心に地域住民などや社会福祉協議会の活動を支援していく。

そして、これらの担い手が地域における課題と目標を共有し、協働により地域福祉を推進していくことが重要です。